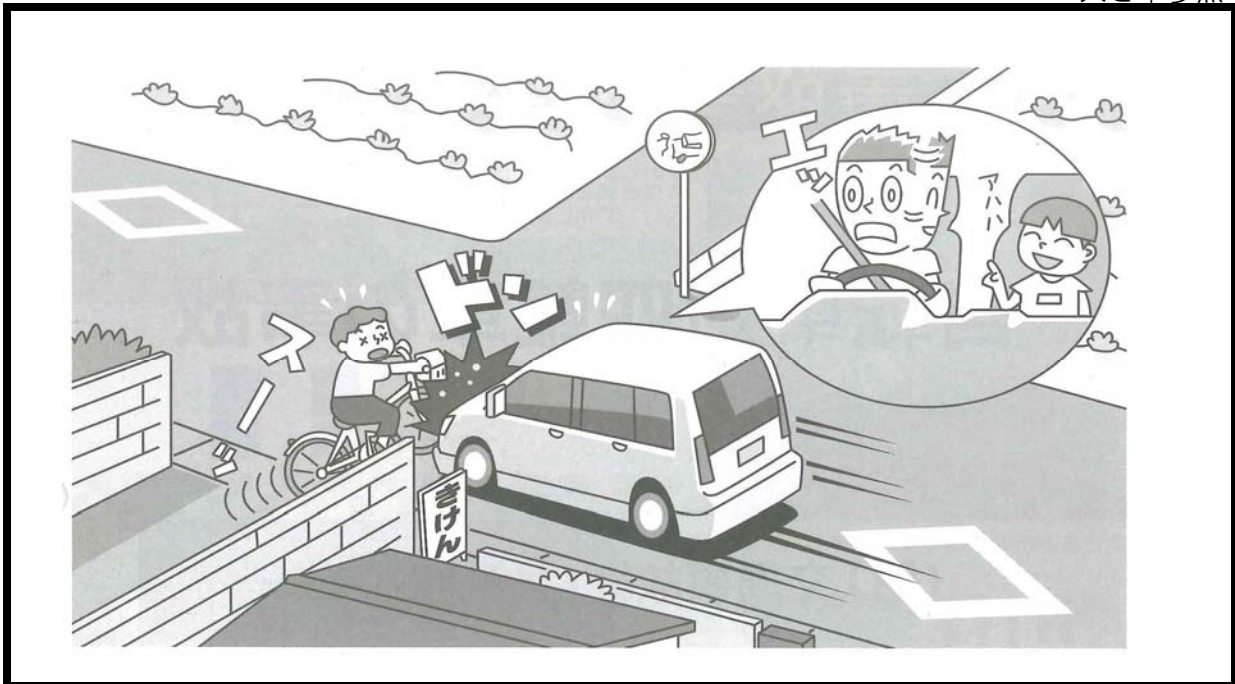


■事故の概況

人と車参照



事故類型：出会い頭

発生日時：昼前

当事者A：軽乗用車 20歳代 男性

当事者B：自転車 40歳代 女性

■ 事故の概要

Aは中央線のない幅員4.5mの道路を、助手席に座らせた三歳の子供と会話をしながら運転していました。この道路をAは週に3～4回通っていたが、この時は交差点があるという意識がないまま走行していました。右側は畑が広がっているが、左側は住宅が続き、ブロック塀や車庫が繋がって見えるので、地中に交差点がある感じがしない道路でした。

交差点に差しかけたとき、Bが左側から突然飛び出してきて、避けることができずに衝突しました。

Bはこの交差点を右折するつもりで走行していました。交差点に差しかかるときに一時停止をせず進入したら、右側からきたAと衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aの前方不注意とBの飛び出しが原因です。Aが通行していた道路は交差点が見えづらい道でしたが、現場となった地点の手前には「きけん」と書かれた看板がありましたし、この先に横断歩道があることがわかるようひし形の指示表示もありました。

更に交差点にはカーブミラーが設置されていましたが、AもBもカーブミラーの存在に気付いていませんでした。Aは何度も通ったことのある道で様子がわかっていたのですから、交差点に差しかけたとき、スピードを落として一層の注意を払うなど、慎重な運転をするべきでした。

一方Bも、自転車は軽車両であるから道路交通法を守らなくてはならない、という意識が極めて希薄でした。自転車は車両なので、道路交通法を守って運転しましょう。